

園芸科学科講座 Vol. 18 マルチング

地面を覆うことを「マルチング」、マルチングに使う資材を「マルチ」といいます。

⇒教科書「農業と環境」p.67 「野菜」p.41

なぜ、地面を覆うのでしょうか？

⇒2, 3年生は答えられますね！ 1年生は教科書で調べてみましょう。

マルチの種類

現在はポリエチレン製のマルチが多く使われていますが、身近にある有機物も使えます。

有機物マルチはゴミにならず土に還ります。



緑肥のムギ

穂が出る前に高温で枯れてマルチになります。

株元に「もみがら」のマルチ

玄米を包んでいる皮が「もみがら」です。

ビニールマルチ

黒と銀の縞模様で、銀色の光をアブラムシが嫌います。

*「稲わら」や「落ち葉」などの有機物もマルチングに使えます。

*「紙」や「分解するプラスチック」で作られたマルチもあります。

*市販のマルチは、色(黒・銀・透明・白など)や、植え穴の間隔など、様々な種類があります。

栽培する植物や環境に応じて、マルチを使い分けています。



進行方向

マルチをセット

マルチャー …マルチを張る機械です。

では、実際にマルチを張ってみます。



① 草花のビニールハウス内です。
小型トラクターで耕うんしました。



② 作縄の内側に三角ホーで土を寄せて高く、
畝(うね)を作ります。



③ 畝の上を板で平らにならします。



④ マルチの端を土で埋めて固定します。



⑤ マルチを畝の端まで転がしていきます。



⑥ バックしながら、両サイドに土をかけていきます。
2人の息を合わせるのがポイントです。



⑦ 完成！
シワがないように張るとマルチの効果が高まります。

学校再開後は、ここに切り花用の苗を植える予定です。お楽しみに！